

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	本巣市立一色小学校		
実 施 期 間	平成25年4月～12月1日(日)		
実 施 概 要	①日曜参観 ②市文化祭参加(全校が図工作品を出展) ③車椅子の方の話を聞く会・点字について学ぶ会等(6年生総合的な学習の時間「福祉教育」) ④P T A資源回収(年3回)夏休み親子奉仕作業 ⑤ふるさと学習 ホタル幼虫飼育と水環境について(4年) 地元の自然、文化、産業について学ぶ(3年) 室町文化を学ぶ(6年)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	400人	計 500人
	地域関係者	100人	
実 施 状 況	①日曜参観 校区自治会と中学生と連携して、ふれあい交流会を実施。地区を大人と一緒に回って、地区の文化財や施設について学び、その後、地域の方とレクリエーションや食事をした。 ②市文化祭 全校児童が図工作品を一人一作品出展した。 ③福祉教育 6年総合的な学習の時間に、病気で車いす生活をしながら起業している方や、先天性の難聴の赤ちゃんのお母さんを招いて、手話などでコミュニケーションしていることなど地元でハンディをもちながら生活している人の生き方について学んだ。 ④資源回収は年3回P T A活動の一環として行った。また、夏休みには親子奉仕作業を行った。 ⑤総合的な学習として「ふるさと学習」を行っている。3年は地元の産業や自然、文化について、講師を招いて説明を受けたり、現場へ行って学んだりした。4年はホタルの幼虫の飼育をはじめ、水質調査や水辺の生き物調査を地元の講師や農林事務所の協力で行った。5年は、地元の農家の方の指導で稲作を学んだ。		
成果及び課題 ○成果 ■課題	○地元の誇るべき文化や産業、豊かな自然について知ることができた。またこれらの自然や文化を守っていこうとする気持ちをもつことができた。またハンディをもつ方の前向きな生き方にふれることで自分の生き方を見つめなおすことができた。体験が伴う学習ができた。 ○保護者や地域の方も学校でふるさと学習をしていることには大変肯定的で、講師として参加される方も協力的で喜びをもたれている。 ○市教育委員会社会教育課が学力向上支援ボランティアをコーディネートしてくれるので大変ありがたい。 ■校外学習を行う場合の安全確保や外部講師との連絡調整が難しいことがある。		

※「学校」には幼稚園を含む。